目次

目次 1
安全上のご注意 2
使用上のご注意 10
安全に関する情報 10
安全事項について 11
目の安全に関する警告 13
はじめに 14
パッケージ内容 14
製品の各部名称 15
本体 15
接続端子 16
リモコン 17
バックアップリモコン 18
コイン形電池の交換 18
インストール 19
プロジェクターの接続 19
ノート PC/DVI/VGA インへの接続 19
ビデオ/SCART への接続 20
プロジェクターの電源オン/オフ 21
プロジェクターの電源を入れる 21
プロジェクターの 電源を切る 22
警告インジケータ 22
投影された映像の調整 23
プロジェクターの高さを調整する 23
PureShift を使用して、投射された画像位置を調整する 24
投射映像サイズと投射距離（プロジェクターとスクリーンの距離） 26
ユーザーコントロール 27
リモコン 27
オンスクリーン ディスプレイメニュー 29
操作方法 29
メニューツリー（階層） 30
イメージ 31
ディスプレー 36
システム 39
設定 43
付録 46
故障かなと思ったら 46
画像の問題 46
他の問題 47
中断の問題 48
リモコンの問題 49
ランプの交換 50
互換モード 52
RS232 のコマンドとプロトコル 機能リスト 53
天井への取り付け 56
Optoma 社 お問い合わせ先 57
規制と安全に関する通知 59

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意 ⚠

禁止	本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。 故障の原因となることがあります。 ● 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泊スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません） ● 湿気が多いところやホコリが多いところ ● 直射日光があたるところ ● 温湿度差の激しいところ ● 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など） ● 腐食性ガス、油煙の中 ● 静電気の影響が強いところ ● 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど） ● 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く） ● 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所 ● 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泊スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
禁止	本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。 ● 落としたり、衝撃を加えない ● 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない ● 重いものを上にのせない ● 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
厳守	ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。
厳守	ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。 ● テレビやラジオなどからできるだけ離してください。 ● テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。 ● コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

厳守	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極とー極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

禁止	リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。 目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。
禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
禁止	使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
禁止	ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	+）（−）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

安全上のご注意

設置場所について

本プロジェクタは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

安全上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windous XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」があることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B 放出制限

このClass Bデジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

大切な安全に関する指示

1. 換気孔を塞がないでください。プロジェクターをしっかり操作し、オーバーヒートから保護できるよう、通気を遮断しないような場所にプロジェクターを取り付けることをお勧めします。例えば、物がたくさん置いてあるコーヒーテーブル、ソファ、ベッド等にプロジェクターを載せないでください。また、空気の流れを制限するような本棚や戸棚などの囲いのある場所にプロジェクターを置かないでください。
2. このプロジェクターを水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクを抑えるために、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブ、熱を発するアンプ等の器具などの熱源の近くに取り付けないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的にダメージを受けたり酷使されたりした場合、ユニットを使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
   - ユニットを落とした。
   - 電源コードやプラグにダメージが生じた。
   - プロジェクターの上に液体がかかった。
   - プロジェクターが雨や湿気にさらされた。
   - 何かがプロジェクターの中に落ちたり、何かが内部で緩んでいる。

   ご自分でユニットを修理しようとしないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。ユニットを修理に出す前に、Optoma にご連絡ください。
7. 物や液体をプロジェクターの中に入れないでください。危険な電圧点に達し、火災や感電を引き起こすような部品のショートが起こる場合があります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. ユニットの修理は正規の修理担当者におまかせください。

使用上のご注意

安全事項について

このユーザーズガイドで推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

■■ 警告- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

■■ 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。

■■ 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

■■ 警告- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。50ページに記載されている指示に従ってください。

■■ 警告- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

■■ 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「システム | ランプ設定」にある「ランプリセット」機能をリセットしてください（42ページを参照してください）。

■■ 警告- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90 秒間プロジェクターを冷却してください。

■■ 警告- プロジェクターが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

■■ 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

Note

ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」（50ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

使用上のご注意

推奨事項:

- 製品の掃除をする前に、電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極度に暑い環境、寒い環境あるいは湿度の高い環境。
    - 室温は、5-35°Cの範囲内としてください。
    - 相対湿度は、5-35°C、80%(最高)、結露なし。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

使用上のご注意

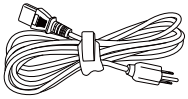
目の安全に関する警告

- プロジェクターのビームをずっと直接見つめたり正視したりしないでください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用するとき、画面の何かを指示するように学生が求められたとき、彼らを適切に指導してください。
- プレゼンテーションする時のランプ パワーを節約するために、部屋の明るさは出来るだけ、暗くしてください。

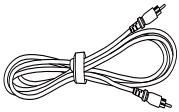
パッケージ内容

箱の中身を出し、以下のすべての部品が箱の中に入っているかどうか点検してください。何かが欠けている場合は、Optoma カスタマーサービスまでお問合せください。

レンズキャップ付プロジェクター



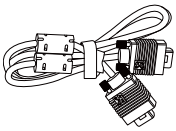
電源コード（1.8m）



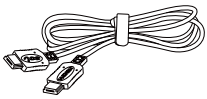
コンポジットビデオケーブル（1.8m）
(欧州バージョンでは使用できません)

Note

国によってアプリケーションが異なるため、一部の地域では別のアクセサリが付く場合があります。



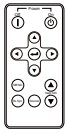
VGAケーブル（2.0m）
(欧州のみ)



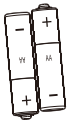
HDMI ケーブル 2.0m
(欧州のみ)

SCART RGB/S-ビデオアダプタ
(欧州のみ)

リモコン



バックアップリモコン



単三電池（2本）

バックアップリモートバッテリ

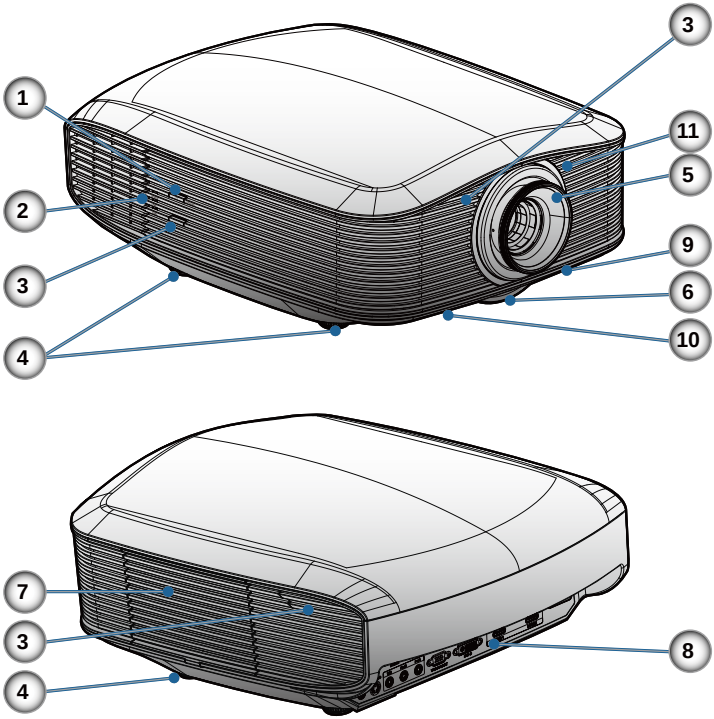
12V トリガーコネクタ
(EMEA/USA*2、ASIA*1)

文書:

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ クイックスタートカード
- ☑ WEEE カード

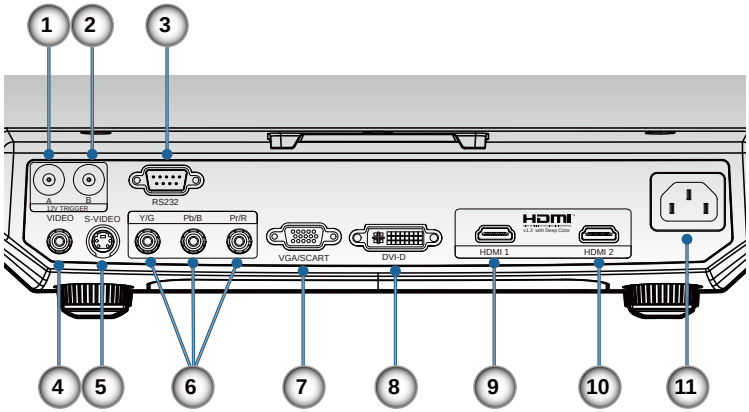
製品の各部名称

本体



1. 電源ボタン
2. LEDインジケータ
3. 赤外線レシーバー
4. チルト調整フット
5. フォーカス
6. ズーム
7. ランプ交換カバー
8. 接続端子
9. 垂直レンズシフト調整
10. 水平レンズシフト調整
11. IR送信機(パノラマビュー電動画面付き)

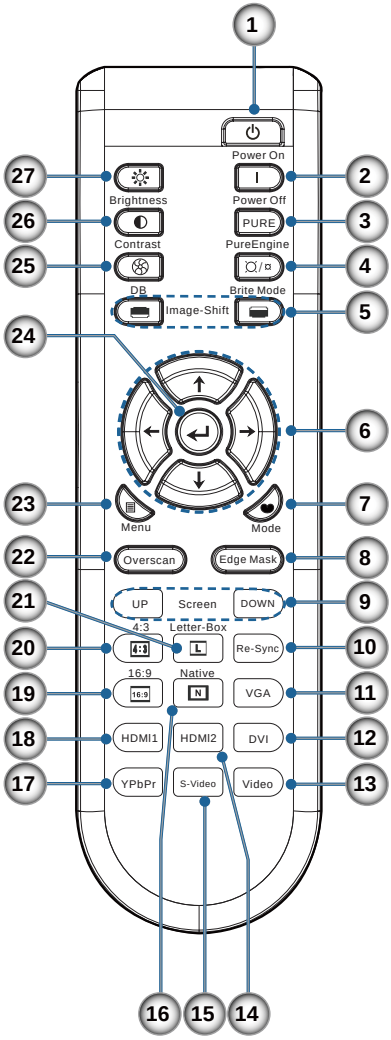
接続端子



1. 12V トリガ A
2. 12V トリガ B
3. RS232
4. コンポジット ビデオ
5. S-Video（S-ビデオ）
6. コンポーネントビデオ
7. VGA入力
8. DVI-D入力（PCデジタルおよびDVI-HDCP）
9. HDMI 1
10. HDMI 2
11. 電源ソケット

リモコン

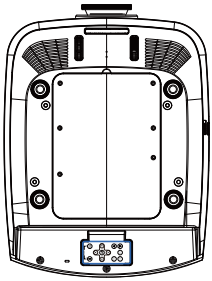
1. 電源オン
2. 電源オフ
3. PureEngine
4. ブライトモード
5. イメージシフト
6. 4方向選択キー
7. モード
8. エッジマスク
9. 画面上/下
10. Re-Sync（再同期）
11. VGA
12. DVI
13. Video
14. HDMI 2
15. S-Video（S-ビデオ）
16. ネーティブ
17. YPbPr
18. HDMI 1
19. 16:9
20. 4:3
21. レターボックス
22. オーバースキャン
23. メニュー
24. Enter
25. DynamicBlack
26. コントラスト
27. 輝度



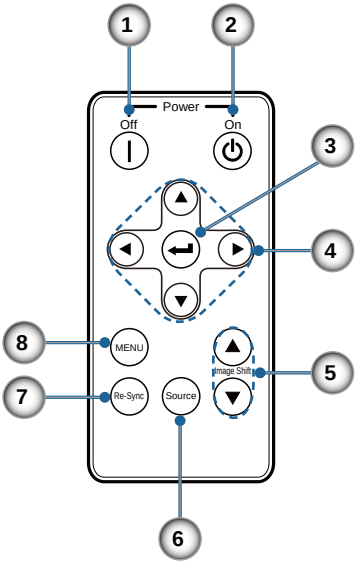
バックアップリモコン

Note

バックアップリモコンは、プロジェクターの下部に磁石で取り付けられています。



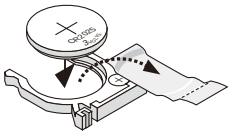
1. 電源オフ
2. 電源オン
3. Enter
4. 4方向選択キー
5. イメージシフト
6. ソース
7. Re-Sync（再同期）
8. メニュー

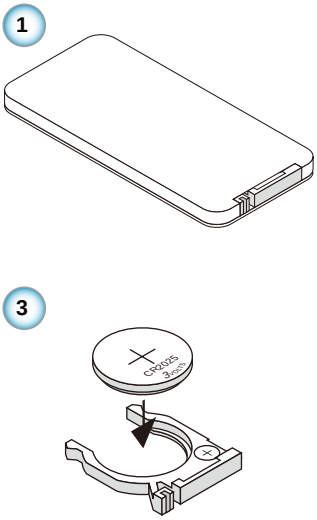


コイン形電池の交換

Note

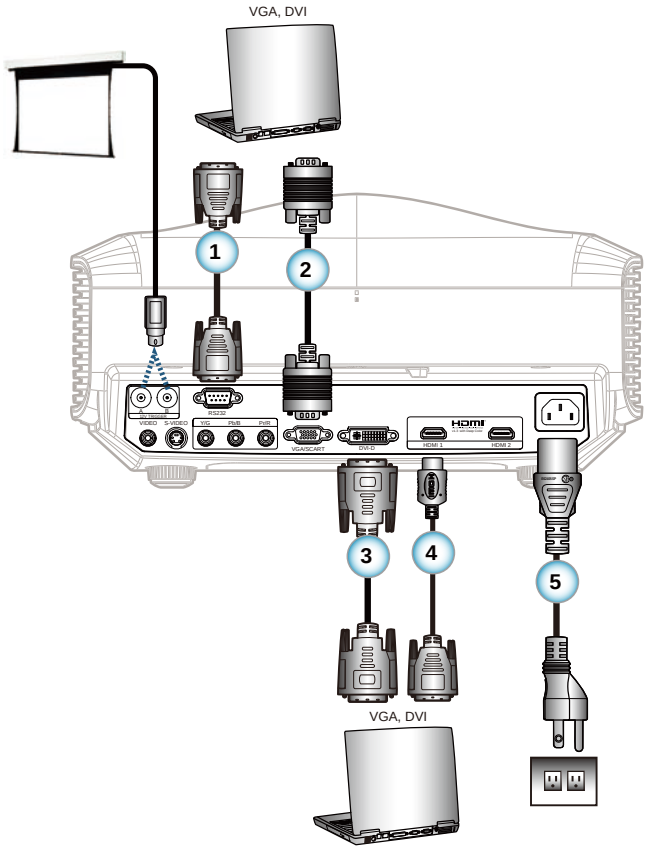
初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。





プロジェクターの接続

ノート PC/DVI/VGA インへの接続



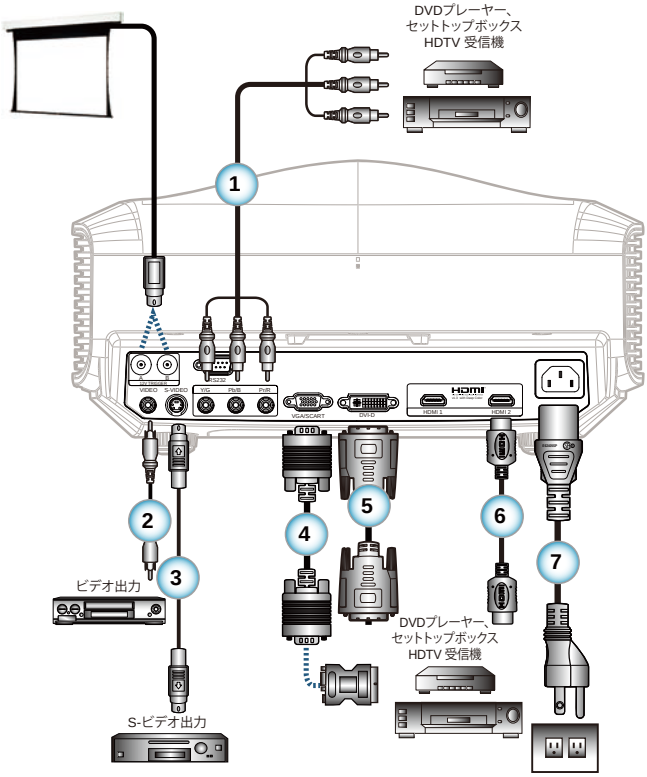
Note

付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1.....RS232 ケーブル (オプションのアクセサリ)
2.....VGA 入力ケーブル (欧州のみ)
3.....DVI ケーブル (オプションのアクセサリ)
4.....DVI/HDMI ケーブル (オプションのアクセサリ)
5.....電源コード

プロジェクターの接続

ビデオ/SCART への接続



Note

付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

Note

12VトリガBはプログラム可能なトリガです。

1.....RCA コンポーネントケーブル（YPbPr用）(オプションのアクセサリ)
2..... コンポジットビデオケーブル (欧州バージョンでは使用できません)
3..... S-VIDEO ケーブル (オプションのアクセサリ)
4..... SCART RGB/S-ビデオアダプタ（欧州のみ）
5..... DVI ケーブル (オプションのアクセサリ)
6.....HDMI ケーブル (欧州のみ)
7.....電源コード

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

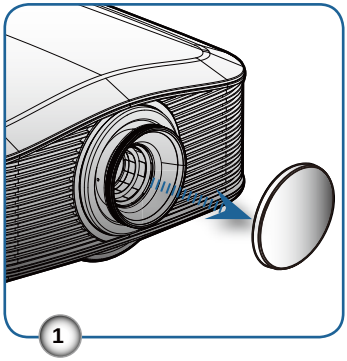
1. レンズキャップを取り外します。❶
2. 電源コードとシグナルケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が赤くなります。
3. プロジェクター側面またはリモコンの「⏻」ボタンを押して、ランプの電源を入れます。電源 LED が青く光ります。❷

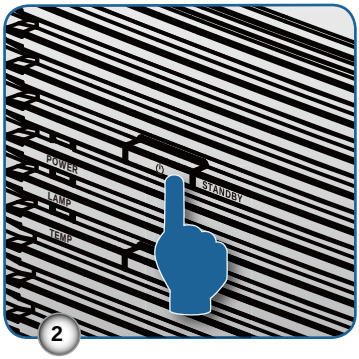
   起動画面は約30秒後に表示されます。初めてプロジェクターを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。
4. クリーンに表示したいソース（コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクターが自動的にソースを検出し、スクリーンに表示します。表示されない場合は、メニューボタンを押し、「設定」に進みます。「ソースロック」が「オフ」になっていることを確認してください。

■■ 複数のソースを同時に接続している場合は、リモコンの「ソース」ボタンを押して入力を切り換えることができます。

Note

まずプロジェクターの電源を入れた後、信号入力源を選択してください。





プロジェクターの 電源を切る

1. リモコンの「」ボタンまたはプロジェクター側面の「⏻」ボタンを1秒間の間隔を開けて2度押すと、プロジェクターの電源が切れます。1回目では、画面に次のメッセージが表示されます。

ボタンをもう一度押し、シャットダウンを確認します。ボタンを押さないと、メッセージが 5 秒で消えます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約60秒間動作を続け、電源LEDは青に変わります。ライトが赤く点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターを再起動させることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

■■ 「LAMP (ランプ)」インジケータ LED が赤になると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。お困りのことがありましたら、お近くの Optoma までご連絡ください。

■■ 「TEMP（温度）」インジケータが赤く点灯した場合、プロジェクターがオーバーヒート状態にあるということを示しています。プロジェクターが自動的にシャットダウンします。
通常の条件下で、プロジェクターは冷却した後再び電源を入れることができます。

■■ 「LAMP (ランプ)」インジケータが赤く点灯した場合、ファンが機能していないことを示しています。

Note

プロジェクターにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。詳細は、57ページをご参照ください。

投影された映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

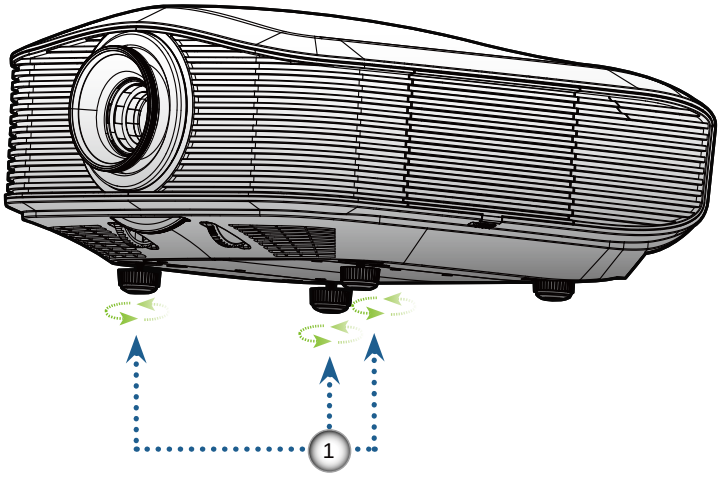
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

映像を上に移動するには :

脚部のねじを使用して画像を希望する高さ/角度まで上げ、表示角度 ❶ を微調整します。

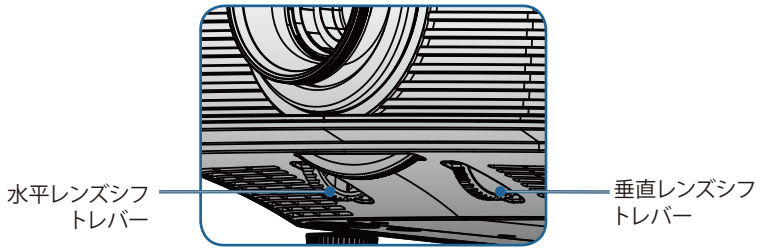
映像を下に移動するには :

脚部のねじを使用して画像を希望する高さ/角度まで下げ、表示角度 ❶ を微調整します。



チルト調整フット

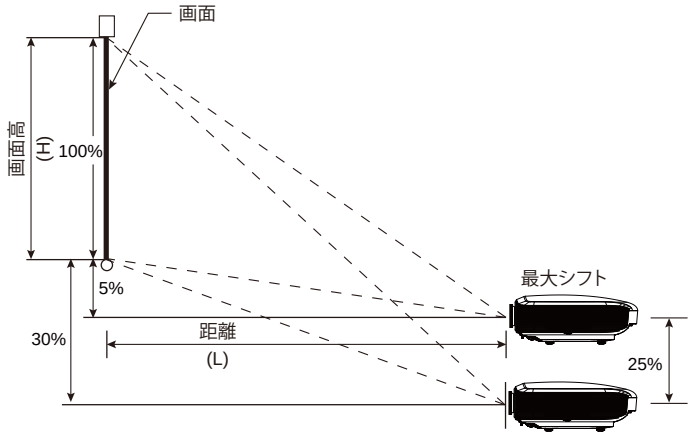
PureShift を使用して、投射された画像位置を調整する



PureShiftにはレンズシフト機能があり、この機能を使用すると、以下に示した範囲内で投射された画像の位置を水平または垂直に調整することができます。PureShiftは独特なシステムで、従来のレンズシフトシステムよりずっと高いANSIコントラスト比を維持したまま、レンズシフトを行います。

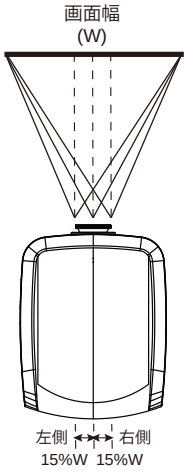
■■ 垂直画像位置を調整する

最小の垂直画像オフセットでは、画像をプロジェクターレンズの中心より 5% 高い位置で固定します。これは、変更することができません。垂直画像高は、画像高の 5%～30% の間で調整できます。最大の垂直画像高調整は、水平画像位置によって制限できることにご注意ください。たとえば、水平画像位置が最大の場合、上で示した最大の垂直画像位置高を得ることはできません。詳細については、以下の PureShift 範囲図を参照してください。

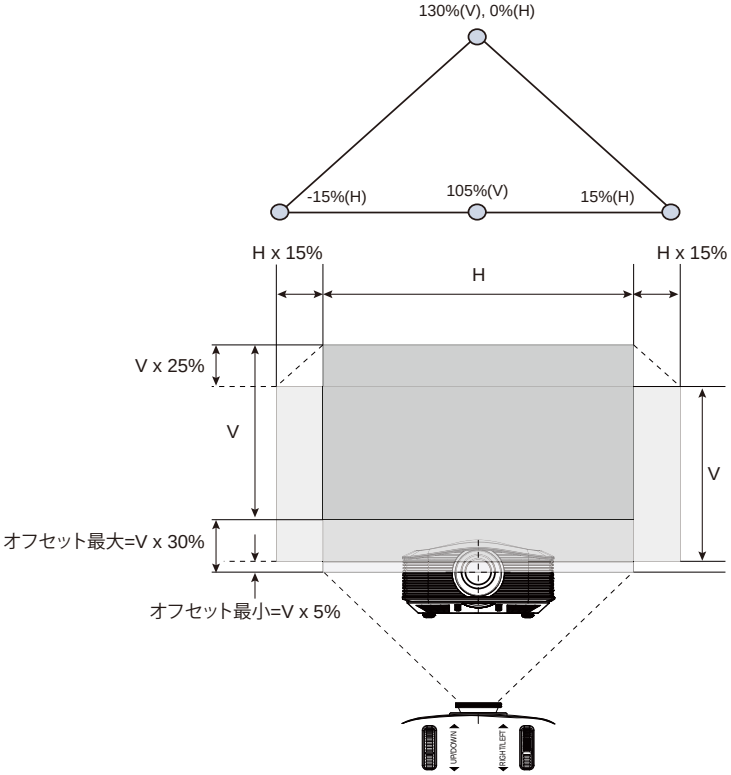


■■ 水平画像位置を調整する

レンズを中心の位置ににしたまま、水平画像位置は画像幅の最大 15% まで左または右に調整できます。最大の水平画像高調整は、垂直画像位置によって制限できることにご注意ください。たとえば、垂直画像位置が最大の場合、最大の水平画像位置を得ることはできません。詳細については、以下の PureShift 範囲図を参照してください。



PureShift 範囲図



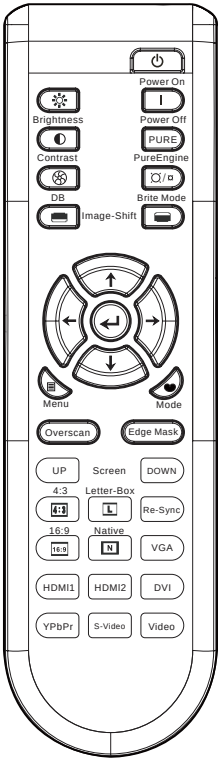
投射映像サイズと投射距離（プロジェクターとスクリーンの距離）

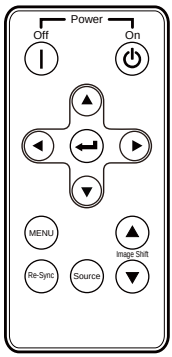
対角線長さ（インチ）16:9サイズスクリーン	画面サイズ (幅x高さ) (16:9)				投影距離（D）				オフセット (Hd)	
	(m)		(フィート)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	Wide側	Tele側	Wide側	Tele側	(m)	(フィート)
30	0.66	0.37	2.18	1.23	-	1.51	-	4.97	0.11	0.37
45	1.00	0.56	3.27	1.84	1.49	2.27	4.88	7.45	0.17	0.55
50	1.11	0.62	3.63	2.04	1.65	2.52	5.43	8.28	0.19	0.61
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.98	3.03	6.51	9.93	0.22	0.74
70	1.55	0.87	5.08	2.86	2.32	3.53	7.60	11.59	0.26	0.86
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.65	4.04	8.68	13.24	0.30	0.98
90	1.99	1.12	6.54	3.68	2.98	4.54	9.77	14.90	0.34	1.10
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.31	5.05	10.85	16.55	0.37	1.23
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.97	6.05	13.02	19.86	0.45	1.47
150	3.32	1.87	10.89	6.13	4.96	7.57	16.28	24.83	0.56	1.84
200	4.43	2.49	14.53	8.17	6.61	10.09	21.70	33.11	0.75	2.45
300	6.64	3.74	21.79	12.26	9.92	15.14	32.55	49.66	1.12	3.68

❖ 上図はユーザ参照用の目安です。

ユーザーコントロール

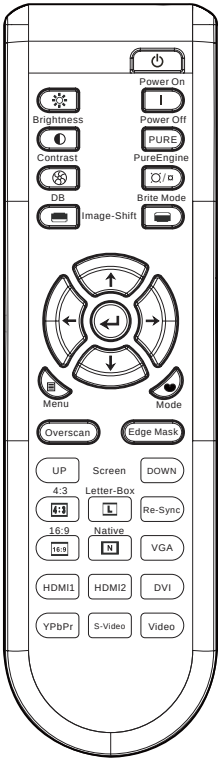
リモコン

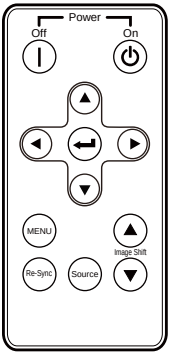




リモコンのボタン	
電源オン	21ページの「プロジェクターの電源オン」を参照してください。
輝度	画像の輝度を調整します。
電源オフ	22ページの「プロジェクターの電源オフ」を参照してください。
コントラスト	画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
PureEngine	PureEngineは高度な画像処理技術を集めたもので、表示された画像の品質を向上します。
DynamicBlack	この機能により暗いムービーシーンの表示が自動的に最適化され、プロジェクターが細部までくっきり表示できるようにします。(34ページを参照してください)
ブライトモード	画像の輝度を上げます。(42ページを参照してください)
イメージシフト	投影された画像位置を垂直に移動します。
Enter	選択した項目を確定します。
4方向選択キー	方向選択キーを使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
メニュー	プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
モード	シネマ、ブライト、フォト、参照、ユーザーからディスプレーモードを選択します。
オーバースキャン	表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。画像ソースのディスプレー画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します

ユーザーコントロール





Edge Mask (エッジマスク)	「オン」を選択すると、表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。画像ソースが表示可能イメージの端近くで高度化エラーを発生した場合、エッジマスク「オン」を使用してください。
Up (上)	このボタンを押して、画面を上に移動します。
Down (下)	このボタンを押して、画面を下に移動します。
4:3 4:3	4:3のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
L レターボックス	全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。
Re-Sync（再同期）	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
16:9 16:9	16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
N ネーティブ	入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
VGA	「VGA」を押してVGAコネクタからソースを選択します。
HDMI 1	「HDMI 1」を押してHDMI 1コネクタからソースを選択します。
HDMI 2	「HDMI 2」を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
DVI	「DVI」を押して、DVIコネクタからアナログおよびデジタル信号ソースを選択します。
YPbPr	「YpbPr」を押してコンポーネントビデオソースを選択します。
S-Video (S-ビデオ)	「S-ビデオ」を押してS-ビデオソースを選択します。
Video	[VIDEO]を押してコンポジットビデオソースを選択します。
Source (ソース)	「ソース」を押してDVI、RGB、コンポーネント、Sビデオ、コンポジットビデオ、HDMIソースを選択します。

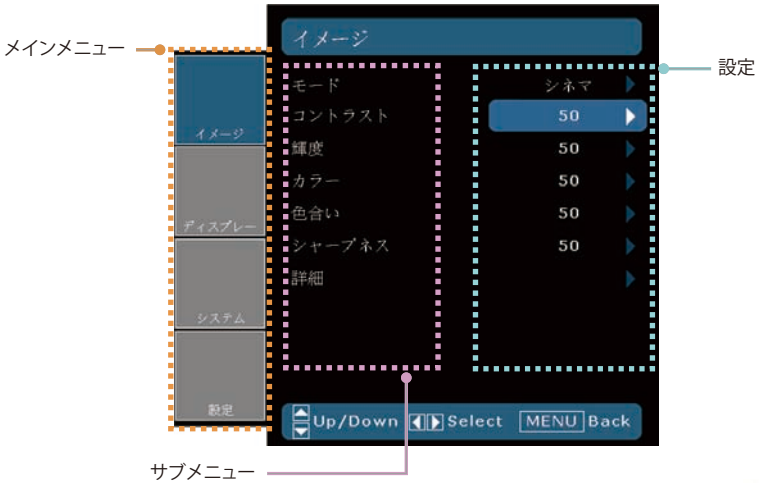
ユーザーコントロール

オンスクリーン ディスプレイメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは自動的にソースを捜索（検出）します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの「Menu」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶ または「Enter」キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「Enter」または「Menu」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「Menu」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

メニューツリー（階層）

ユーザーコントロール

イメージ

モード

さまざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- シネマ: ホームシアター用。
- 明るい: 最大輝度入力。
- フォト: 写真画像の表示用に最適化されています。
- 参照: このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。色、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。
- ユーザー: ユーザー設定。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが強くなります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押すと画像が明るくなります。

カラー

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ▶ を押すと画像の彩度が高くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画ケウのシャープネスをスコセ。

- ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが強くなります。

ユーザーコントロール

イメージ | 詳細

ノイズ　リダクション

モーション適応ノイズリダクションは、目に見えるノイズインタレース信号の量を削減します。範囲は「0」から「10」の間です。(0:オフ)

γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用して画像出力を最適化します。

- 映画: ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたはTVソース用。
- グラフィック: イメージソース用。
- 標準: 標準化された設定用。

白黒拡張

Black and White Extensionは黒と白のレベルを引き伸ばして、入力画像のコントラストを自動的に上げます。この装置には2つのプリセットモードがあり、プリセットを切り替えて異なるイメージ効果を得ることができます。(オフ/オン)

色温度

低温に設定すると、画像が青みがかって見えます（コールドイメージ）。暖かい気温に設定すると、画像が赤みがかって見えます（ウォームイメージ）。

PureEngine

PureEngineは高度な画像処理技術を集めたもので、表示された画像の品質を向上します。

DynamicBlack

DynamicBlackにより暗いムービーシーンの表示が自動的に最適化され、プロジェクターが細部までくっきり表示できるようにします。

RGB ゲイン/バイアス

以下のように次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ を使ってアイテムを選びます。◀ か ▶ を使って、輝度（ゲイン）とコントラスト（バイアス）について赤、緑、青を選びます。

ユーザーコントロール

イメージ | 詳細 | PureEngine

PureDetail

PureDetailはエッジ強調ツールで、投射された画像のエッジを強調し、それによって細部をよりくっきりと表示できるようになります。

PureColor

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。範囲は「0」から「5」の間です。

PureMotion

PureMotionは最新のアルゴリズムを使用して、画像の自然な動きを失わないようにしています。

PureEngine Demo

この機能により、生の処理されていない画像とPureEngineで処理された画像の画質の違いを見ることができます。このモードを使用して、PureEngine設定に対して行った調整をチェックします。

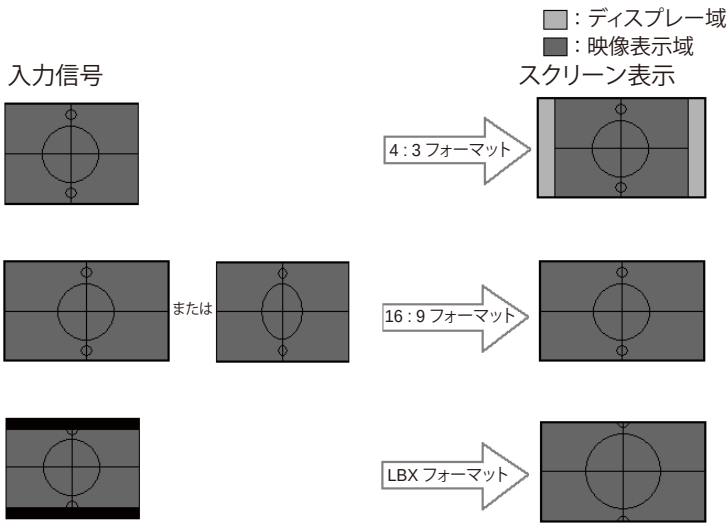
ユーザーコントロール

ディスプレー

フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは、4x3 入力ソース用です。
- 16:9: このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化された HDTV および DVDなどの、16x9入力ソース用です。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。



- LBX: 16x9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部アナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。

LBXモードに関する詳細情報:

1. 16x9 TV用に強化されていないレターボックスDVDも一部にあります。この場合、16:9モードで表示されるとき、イメージは正しく表示されません。

   この場合、4:3モードを使用してDVDを表示してみてください。

   コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、16:9 ディスプレイで画像を埋めるために LBX モードをお使いください。

2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。

   こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

Note

- 各 I/O には別々の「オーバースキャン」の設定があります。

オーバースキャン

Overscan機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

エッジマスク

- ◀ を押すと映像のサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投写された映像が拡大します。

垂直イメージ シフト

投影された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

◀ または ▶ を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

SuperWide

SuperWideは特殊な2.0:1アスペクト比画面を使用して、16:9と2.35:1アスペクト比のムービーを、画面の上下に黒いバーなしに表示することができる機能です。

- オフ: 希望するアスペクト比は4:3、16:9、レターボックス、ネーティブから選択できます。
- オン: 4:3と16:9のフォーマットのみを選択できます。
- 自動 : フィルム形式の違いを解決するために、オプションで形式を同じ比に維持することができます。

Note

- 「SuperWide」は、デフォルトでは「オフ」です。
- 「SuperWide」の使用法

1. 2.0:1アスペクト比の画面を表示します
2. SuperWideをオンに切り替えます
3. プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます
4. 黒いバーなしにムービーをお楽しみいただけます

ユーザーコントロール

システム

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

投射方式

- 正面-投射

  これが初期設定の選択です。画像はスクリーンにまっすぐ投影されます。

- 裏側-卓上

  選択すると、画像が反転して表示されます。

- 正面-天吊り

  選択すると、画像が上下逆になります。

- 裏側-天吊り

  選択すると、画像が上下逆に反転して表示されます。

Image AI

イメージ AIは、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

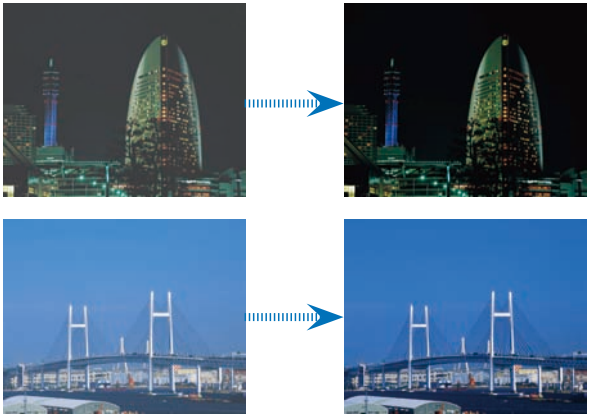
Note

リア デスクトップとリア シーリングは、半透明スクリーンで使われます。

日本語

ユーザーコントロール

- オン: ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現され、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。
- オフ: ダイナミックなイメージパフォーマンスマネージャは、スタンバイ状態にあります。



テストパターン

テストパターンを表示します。格子、ホワイトパターン、なしがあります。

背景色

この機能を使用して、信号が利用できない場合「ダークブルー」、「黒」、または「グレイ」スクリーンを表示します。

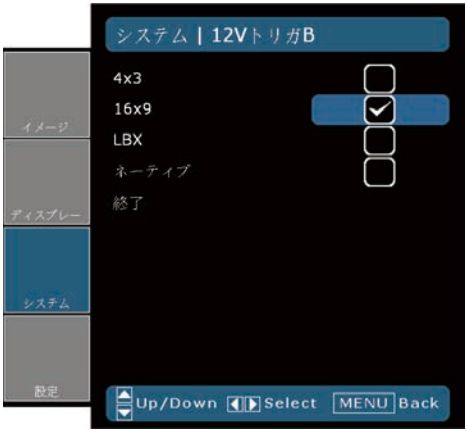
12V トリガ A

12Vトリガaは、電動画面に標準トリガを提供します。

12V トリガ B

ユーザーコントロール

- オフ: トリガを無効にします。
- オン: トリガとプログラム可能サブメニューを有効にします。サブメニューには「オン」オプションを選択し、リモコンの「ENTER」ボタンを押すことでアクセスできます。サブメニューでオプションにチェックを入れると、選択したディスプレーモードが選択されるときにトリガが起動します。以下の例では、16:9が選択されています。これは、プロジェクターのディスプレーモードが16:9に設定されているとき、トリガBがアクティブになることを意味します。トリガは、他のディスプレーモードオプションではアクティブになりません。



- オート235: オート235が有効になっているとき、プロジェクターは2.35:1比プレゼンテーションが表示されていることを自動的に検出し、このポートでトリガを起動します。その後、電動アナモルフィックレンズアセンブリを起動するために使用できます。オート235設定と電動アナモルフィックレンズアセンブリをこのようにして使用して、完全自動化「コントラスト高」投射システムを実現します。

ユーザーコントロール

システム | ランプ設定

ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ブライトモード

「オン」を選択すると明るさが増します。「オフ」を選択すると通常モードに戻ります。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

ユーザーコントロール

設定

言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ◀ または ▶ を押し、▲ または ▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。「選択 (Enter)」を押して選択を終了します。

入力ソース

信号源の選択をオンにします。以下のように ◀ または ▶ を押して次のメニューに入り、▲ または ▼ を使って選択します。「選択 (Enter)」を押して選択を終了します。プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。

ユーザーコントロール

ソースロック

この機能がオフになっているとき、現在の入力信号が失われた場合プロジェクターは他の信号を検索します。この機能がオンになっているとき、指定された接続ポートを検索します。

高度

「オン」を選択すると高度モードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高度においてプロジェクターを適切に冷却します。

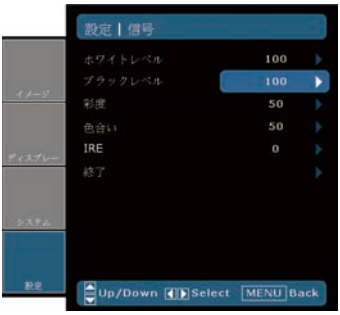
自動電源オフ(分)

信号入力がない場合、システムのパワーオフの間隔を設定します。(分)。

信号

RGB/HDTVソース

ビデオソース



- 位相: ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。
- トラッキング: ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- 水平位置: 水平位置を調整します。
- 垂直位置: 垂直位置を調整します。

Note

ソースがHDMIまたはDVI-Dの場合、「信号」はサポートされません。

- ホワイトレベル: Sビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。
- ブラックレベル: Sビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。
- 彩度: ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。◀ を押し、画像の色の量を減らします。▶ を押し、画像の色の量を増やします。
- 色合い: 赤と緑のカラーバランスを調整します。◀ を押し、画像の緑の量を増やします。▶ を押し、画像の赤の量を増やします。
- IRE : コンポジットビデオ信号の測定値を調整します。

Note

「IRE」はNTSC信号でのみサポートされます。

色空間

RGB または YCbCr から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- 現在: 現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。
- 全部: すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

? スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。

? 画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクターと投写スクリーン間の要求される距離が1.5～10.0m以内にあることを確認してください。詳細は26ページをご参照ください。

? 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- プロジェクター パネルの「メニュー」を押し、「ディスプレー --> フォーマット」に進みます。別の設定を試してみます。

画像の両側が斜めになる：

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- OSDから「ディスプレー --> 垂直キーストン」を使用して調整を行います。

映像が反転する

- スクリーンメニューから「システム --> 投射方式」を選択し、投写方向を調整してください。

他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」（50ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

中断の問題

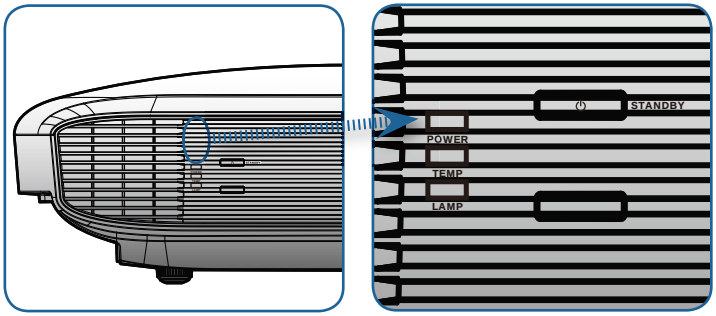
LED の状態

メッセージ	電源LED（赤）	電源LED（青）	温度LED（赤）	ランプLED（オレンジ）
スタンバイ状態（電源コード接続済）	☼	○	○	○
スタンバイ状態(バーンインモード)	○	点滅	☼	☼
ランプのライトをオンにします	○	* ☼	○	○
電源オフ(冷却)	○	☼	○	○
エラー（ランプトラブル）	○	☼	○	☼
エラー（熱トラブル）	○	☼	☼	○
エラー（ファントラブル）	○	☼	点滅	○
エラー（過熱）	○	☼	☼	○

Note

点灯 => ☼
消灯 => ○

* OSD が表示されると電力 LED がオンになり、OSD が消えるとオフになります。



オンスクリーンメッセージ

- ファンのトラブル:
  プロジェクタは自動的にスイッチがオフになります。

- 過熱:
  プロジェクタは自動的にスイッチがオフになります。

- ランプの交換:
  間もなくランプの寿命が切れます。
  ランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターのIRレシーバーから水平および垂直方向に±25°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターのボックスから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- バッテリの残量がなくなったら交換してください。

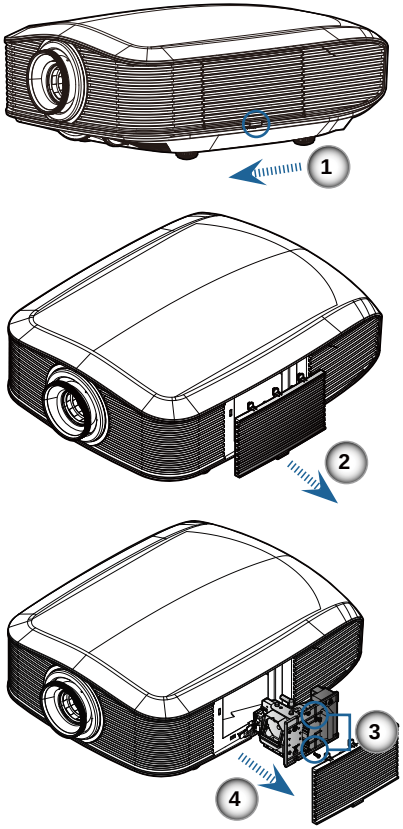
ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約 30 分お待ちください。

警告: ランプ周辺は高熱になっています! 冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。



ランプ交換手順:

1. 「電源」ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ランプカバーを開けます。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き上げます。❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

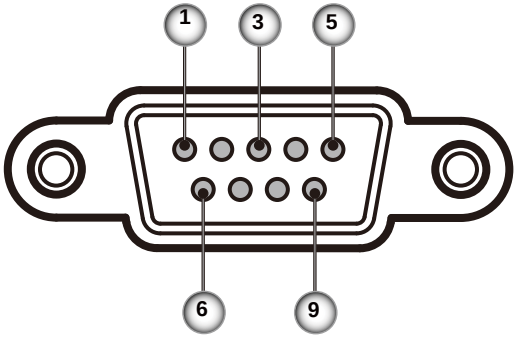
8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
   ランプリセット: (i)「メニュー」を押し -> (ii)「システム」を選択し -> (iii)「ランプ設定」を選択し -> (iv)「ランプリセット」を選択し -> (v)「はい」を選択します。

互換モード

モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	アナログ	デジタル
SVGA	800 x 600	56	✓	×
	800 x 600	60	✓	✓
	800 x 600	72	✓	✓
	800 x 600	75	✓	✓
	800 x 600	85	✓	✓
XGA	1024 x 768	60	✓	✓
	1024 x 768	70	✓	✓
	1024 x 768	75	✓	✓
	1024 x 768	85	✓	×
WXGA	1280 x 768	60	✓	✓
	1280 x 800	60	✓	×
HD	1280 x 720	60	✓	✓
	1280 x 1024	60	✓	✓
	1280 x 1024	75	✓	✓
	1920 x 1080	24	×	✓
	1920 x 1080	60	×	✓
SXGA+	1400 x 1050	60	✓	✓
UXGA	1600 x 1200	60	✓	✓
Power Book G4				
SVGA	800 x 600	60	✓	×
	800 x 600	75	✓	×
	800 x 600	85	✓	×
XGA	1024 x 768	60	✓	×
	1024 x 768	70	✓	×
	1024 x 768	75	✓	×
	1024 x 768	85	✓	×
WXGA	1280 x 768	60	✓	×
HD	1280 x 720	60	✓	×
	1280 x 1024	60	✓	×
	1280 x 1024	75	✓	×
SXGA+	1400 x 1050	60	✓	×
UXGA	1600 x 1200	60	✓	×
iMAC				
XGA	1024 x 768	60	✓	×

RS232 のコマンドとプロトコル 機能リスト

RS232 ピン割り当て



ピン番号	信号名	I/O（プロジェクター側）
1	NC	__
2	RXD	IN（入力）
3	TXD	OUT（出力）
4	NC	__
5	NC	__
6	NC	__
7	RS232	RTS
8	RS232	CTS
9	NC	__

RS232 プロトコル機能リスト

Baud Rate : 9600
Parity: None
Flow Control : None
Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

Data Bits: 8
Stop Bits: 1
UART16550 FIFO: Disable

XX=01-99, projector's ID, XX=00 is for all projectors

SEND to projector

Note : There is a <CR> after all ASCII commands
0D is the HEX code for <CR> in ASCII code

232 ASCII Code	HEX Code	Function		Description
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON		
~XX00 2	7E 30 30 30 30 20 32 0D	Power OFF		
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync		
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D		HDMI 1	
~XX12 15	7E 30 30 31 32 20 31 35 0D		HDMI 2	
~XX12 2	7E 30 30 31 32 20 32 0D		DVI	
~XX12 14			Component YPbPr	
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA	
~XX12 7	7E 30 30 31 32 20 37 0D	Direct Source Selection	VGA SCART	
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA Component	
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-video	
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video	
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Cinema	
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright	
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Photo	
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		Reference	
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User	
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness		n= 0 (a=30) - +100 (a=31 30 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast		n= 0 (a=30) - +100 (a=31 30 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness		n= 1 (a=31) - +15 (a=31 35)
~XX44 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color		n= 0 (a=30) - +100 (a=31 30 30)
~XX45 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Tint		n= 0 (a=30) - +100 (a=31 30 30)
~XX196 n	7E 30 30 31 39 36 20 a 0D	Image/Advanced	Noise Reduction	n= 0 (a=30) - 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Image/Advanced/Gamma	Film	
~XX182 n	7E 30 30 31 38 32 20 a 0D		Curve Type n=-7 (a=2D 37) - +7 (a=37)	
~XX183 n	7E 30 30 31 38 33 20 a 0D		Offset n=-5 (a=2D 35) - +5 (a=35)	
~XX35 2	7E 30 30 33 35 20 32 0D		Video	
~XX184 n	7E 30 30 31 38 34 20 a 0D		Curve Type n=-7 (a=2D 37) - +7 (a=37)	
~XX185 n	7E 30 30 31 38 35 20 a 0D		Offset n=-5 (a=2D 35) - +5 (a=35)	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX186 n	7E 30 30 31 38 36 20 a 0D		Curve Type n=-7 (a=2D 37) - +7 (a=37)	
~XX187 n	7E 30 30 31 38 37 20 a 0D		Offset n=-5 (a=2D 35) - +5 (a=35)	
~XX35 4	7E 30 30 33 35 20 34 0D		Standard	
~XX188 n	7E 30 30 31 38 38 20 a 0D		Curve Type n=-7 (a=2D 37) - +7 (a=37)	
~XX189 n	7E 30 30 31 38 39 20 a 0D		Offset n=-5 (a=2D 35) - +5 (a=35)	
~XX43 n	7E 30 30 34 33 20 a 0D	B/W Extension		n= Off /On (a=30/31)
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D	Color Temp.	Warm	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Medium	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	RGB Gain\Bias	Red Gain	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green Gain	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue Gain	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX27 n	7E 30 30 32 37 20 a 0D		Red Bias	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX28 n	7E 30 30 32 38 20 a 0D		Green Bias	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX29 n	7E 30 30 32 39 20 a 0D		Blue Bias	n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX33 1	7E 30 30 33 33 20 31 0D		Reset	
~XX41 n	7E 30 30 34 31 20 a 0D	Image/Advanced/PureEngine	PureDetail	n=Off/1/2/3 (a=30/31/32/33)
~XX42 n	7E 30 30 34 32 20 a 0D		PureColour	n=Off/1/2/3/4/5 (a=30/31/32/33/34/35)
~XX190 n	7E 30 30 31 39 30 20 a 0D		PureMotion	n=Off/Low/Med/High (a=30/31/32/33/34)
~XX197 n	7E 30 30 31 39 37 20 a 0D		Pure Demo	n=Off/H Spilt/V Spilt=0/1 (a=30/31/32)
~XX39 1	7E 30 30 33 39 20 31 0D	Input Source Filters	HDMI 1	
~XX39 7	7E 30 30 33 39 20 37 0D		HDMI 2	
~XX39 2	7E 30 30 33 39 20 32 0D		DVI-D	
~XX39 8	7E 30 30 33 39 20 38 0D		Component	
~XX39 5	7E 30 30 33 39 20 35 0D		VGA	
~XX39 9	7E 30 30 33 39 20 39 0D		S-Video	
~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 31 30 0D		Video	
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Native	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Overscan		n= 0 (a=30) – 4 (a=34)
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Edge masking		n=0 (a=30) -5 (a=35)
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift		n= -50 (a=2D 35 30) - +50 (a=35 30)
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone		n= -16 (a=2D 31 36) - +16 (a=31 36)
~XX199 n	7E 30 30 31 39 39 20 a 0D	SuperWide		n=0ff/On/Auto (a=30/31/32)
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	

~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Center	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n=0 (a=30)-60 (a=36 30) (multiple of 5)
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D	Color Space	RGB	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YCbCr	
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal	Tracking	n= 0 (a=30) –200 (a=32 30 30)
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n= 0 (a=30) – 100 (a=31 30 30)
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n= 0 (a=30) – 100 (a=31 30 30)
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n= 0 (a=30) – 100 (a=31 30 30)
~XX200 n	7E 30 30 32 30 30 20 a 0D		Black Level	n=0 (a=30) -100 (a=31 30 30)
~XX201 n	7E 30 30 32 30 31 20 a 0D		White Level	n=0 (a=30) -100 (a=31 30 30)
~XX202 n	7E 30 30 32 30 32 20 a 0D		Saturation	n= 0 (a=30) – 100 (a=31 30 30)
~XX203 n	7E 30 30 32 30 33 20 a 0D		Hue	n= 0 (a=30) – 100 (a=31 30 30)
~XX204 n	7E 30 30 32 30 34 20 a 0D		IRE	n=0/7.5 (a=30/31)
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 2	7E 30 30 31 30 30 20 32 0D		Off	
~XX191 n	7E 30 30 31 39 31 20 a 0D	DynamicBlack		n=Off/Cinema 1/Cinema 2=1(a=30/31/32)
~XX192 n	7E 30 30 31 39 32 20 a 0D	12V Trigger A		n=On/Off (a=30/31)
~XX193 n	7E 30 30 31 39 33 20 a 0D	12V Trigger B		n=Off/On/AUTO235 (a=30/31/32)
~XX205 n	7E 30 30 32 30 35 20 a 0D	AUTO235		n=4:3/16:9/LBX/ Native (a=31/32/35/36)
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Dark Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Gray	
~XX194 n	7E 30 30 31 39 34 20 a 0D	Image AI		n=On/Off (a-31/32)
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Setting	Lamp Hour	
~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D		Lamp Reminder	On
~XX109 2	7E 30 30 31 30 39 20 32 0D			Off
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D		Brite Mode	On
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D			Off
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D		Lamp Reset	Yes
~XX111 2	7E 30 30 31 31 31 20 32 0D			No
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset		Yes
~XX112 2	7E 30 30 31 31 32 20 32 0D			No

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
when Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Lamp fail			INFOn	n : 0/1/2/3/4 = Standby/Warming/Cooling/Lamp fail

READ from projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n: 0/1/2/3/4/5/6/7/8 = None/HDMI 1/HDMI 2/DVI/Component/VGA/S-Video/Video
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Software Version	OKaaaa	
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n: 0/1/2/3/4/5 =Cinema/ Bright/ Photo/ Reference/ User
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n: 0/1=Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Aspect Ratio	OKn	n: 0/1/2/3/4 =4x3, 16x9, LBX, Native
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n: 0/1/2=Warm/Medium/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n: 0/1/2/3 =Front-Desktop/Rear-Desktop/Front-Ceiling/Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbcddddde	a : 0/1=Off/On bbbb: Lamp Hour c: source 0/1/2/3/4 = None/HDMI 1/HDMI 2/DVI/Component/VGA/S-Video/Video dddd: FW version e : Display mode 0/1/2/3/4/5 =Cinema/ Bright/ Photo/ Reference/ User
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model Name	OKn	n : 0/1/2=HD82/HD82LV
~XX152 1	7E 30 30 31 35 32 20 31 0D	RS232 Version No	OKn	

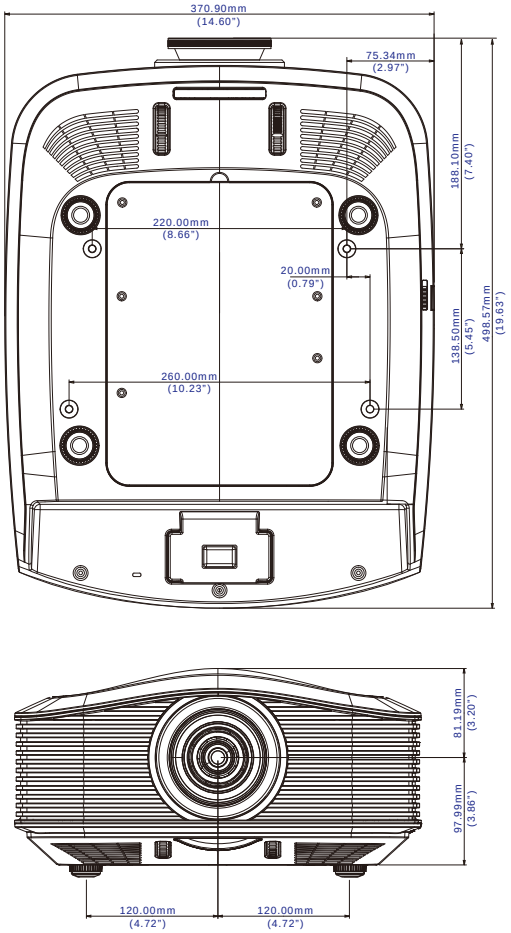
天井への取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
   - **ネジの種類: M6**
   - **最大ネジ長: 12mm**
   - **最小ネジ長: 10mm**

Note

プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

警告:
1. 他社の天井取り付け器具を購入する場合は、必ず正しいネジのサイズをお使いください。ネジのサイズは取り付け器具によって異なります。プレートの厚さによって違いがあります。
2. 天井とプロジェクターの端には少なくとも 10cm の間隔をあけておくようにしてください。
3. 熱源の近くにプロジェクターを取り付けないでください。



Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com

電話: 408-383-3700
FAX: 408-383-3702
メールアドレス : services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
www.optoma.ca

電話: 905-361-2582
FAX: 905-361-2581

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
カスタマーサービス TEL : +44 (0)1923 691865

電話: +44 (0) 1923 691 800
FAX: +44 (0) 1923 691 888
メールアドレス : service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

電話: +33 1 41 46 12 20
FAX: +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28529 Rivas VaciaMadrid,
スペイン

電話: +34 91 499 06 06
FAX: +34 91 670 08 32

ドイツ

Werftstrasse 25
D40549 Düsseldorf,
Germany

電話: +49 (0) 211 506 6670
FAX: +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス : info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen
Norway

電話: +47 32 26 89 90
FAX: +47 32 83 78 98
メールアドレス : info@optoma.de

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

電話: 408-383-3700
FAX: 408-383-3702
www.optoma.com.mx

台湾

231，台北縣新店市民權路108號5樓
中華民国
電話：+886-2-2218-2360
服務處：services@optoma.com.tw

傳真：+886-2-2218-2313
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan Kowloon, Hong Kong
電話: +852-2396-8968
www.optoma.com.hk

FAX: +852-2370-1222

中国

上海市长宁区凯旋路1205号5楼
邮编：200052
www.optoma.com.cn

电话：+86-21-62947376
传真：+86-21-62947375

日本

東京都足立区綾瀬 3-25-18
株式会社オーエスエム
E-Mail: info@osscreen.com

サポートセンター:0120-46-5040

http://www.os-worldwide.com/

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Nonhyun-Dong,
Kangnam-Ku, seoul, 135-815, KOREA

電話: +82+2+34430004
FAX: +82+2+34430005

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC 通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

メーカーがはっきりと承認していない変更や修正を行うと、このプロジェクターを操作するために連邦通信委員会から付与されたユーザー権限が無効になる場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この製品をリサイクルしてください。